



「災害派遣活動写真展示」 ～自衛隊への理解と防災意識の向上～

2等陸曹 早坂 健治



自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 土屋2陸尉）は令和6年1月16日（火）から3月下旬の間、担当地域6自治体全ての計21ヶ所において「自衛隊災害派遣活動写真展示」を実施した。

展示写真は、令和6年能登半島地震、東日本大震災及び熊本地震による災害派遣活動写真や災害派遣時に運用していた装備品の写真を展示し、来場者からは「自衛隊の活動にとっても感謝しています」「予備自衛官補制度を初めて知ったので検討したい」また、学生からは「今後の進路の一つとして自衛隊を考えた」となどの声があった。

そして、伊勢崎市長にもご来場いただき自身のブログにて、「自衛隊員の献身的な活動に敬意を表する。防災、災害対応にしっかり取り組んでゆく決意を新たにすると掲載していただきました。また、渋川市長も定例記者会見において「令和6年能登半島地震で被害に遭われた人々への支援を考える機会とするため、被災地で活動している自衛隊や、現地へ派遣された渋川広域消防本部・渋川市職員の活動の様子を伝える写真展示会開催」を発表していただきました。

前橋募集案内所は引き続き、各自治体と連携して、写真展示等による災害派遣活動状況の紹介などを行い、自衛隊の活動にご理解いただくとともに地域の皆様のご理解ご協力を得ながら防災意識の向上にも繋げていただけるよう努力したい。